

前の住人がやって来たの漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	前の住人がやって来たの漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	前の住人がやって来たを読んだことのある20代～50代の男女20名
調査期間	2025年7月19日～2025年7月20日 2025年8月20日 2025年9月22日 2025年12月20日 2026年1月17日 2026年2月21日 2026年3月21日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	ランサーズ
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/mae-nozyuningayattekita/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 前の住人がやって来たを実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

10代男性	0人
10代女性	0人
20代男性	0人
20代女性	0人
30代男性	12人
30代女性	0人
40代男性	6人
40代女性	2人

50代男性	0人
50代女性	0人

Q2: 前の住人がやって来たの感想を教えてください。

『前の住人がやって来た』の1話	物語の展開が本当にリアルで怖すぎますね。もし後藤と同じ状況になったらどのような行動に出ようかと色々と考えてしまいましたね。そのくらいストーリーに厚みがあって考えさせられる内容になっているのでホラー好きにはとてもおススメの作品ですね。自分だったら多分無視して朝を待ちますね。前の住人が後藤に意味深なことばかり話してくる展開にも後々のストーリーを暗示しているようで目が離せません。
『前の住人がやって来た』の1話	本当に津田川の言動が独特すぎて戸惑いますね。前の住人だから何なんでしょうか。後藤にしたらいい迷惑ですね。いきなり部屋に来て共同生活が始まってしまう流れに驚きがありました。でもその共同生活をきっかけに津田川のいろんな面がわかってくるのでその点も面白いところですね。料理がとても上手いということが判明した時は何だか少しだけ津田川に対しての好感度が上がりました。
『前の住人がやって来た』の1話	自称・前の住人だという津田川さんの風体や言動にゾッとするような気持ち悪さを感じました。なぜか主人公の名前や現状を把握しているという不気味さもありますし、102号室になにかいわくがあるとしても、純然たる親切心で忠告しに来てくれたとは思えません。この部屋にどんな秘密があるのか、はやく知りたくなりました。
『前の住人がやって来た』の2話	後藤が住んでいる部屋に不思議な力があることを津田川が気が付いており、そのことを注意喚起している姿がとても面白いですね。なんだかひどく深刻な感じで見ていてこの先どうなるのかというワクワク感が増幅していきます。個人的に津田川の迫真の表情が事の重大さを物語っているのでより面白みが増していきます。個人的に津田川の独特な言動が大好きですね。
『前の住人がやって来た』の2話	津田川さんがカレンダーの6月19日の部分を箸で何度も突き刺すシーンや、めくった畳の裏に大量にお札が貼られているシーンから伝わってくるおぞましい狂気に圧倒されました。また、まだ102号室の異常さというのが一体なんなのか良くわからない状態なのに、さらに津田川さんよりも前の住人まで登場して、なんだかカオスな展開が面白いと感じました。
『前の住人がやって来た』の2話	とにかく最初から狂気の連続で、様々な真相が明らかになり最後まで目を離せなかったですし、特に床下に隠されていた秘密が分かった時には、良い意味で鳥肌が立ってしまいました。また、1話では分からなかった謎が徐々に解けてきましたし、それでいて更に謎も深まる展開で、益々今後どうなるかが気になり没頭しながら読みました。
『前の住人がやって来た』の3話	後藤の部屋にまたしても前の住人が集まってしまう流れがとても面白いですね。一体この部屋は何なんだという気持ちが高まりを見せていきますね。令香の見た目がいかにもギャルな雰囲気生意気な感じがとても魅力的です。津田川が令香に対してヘコヘコしているのも本当に滑稽で非常に笑わせてもらいました。完全に後藤の部屋はパワースポットのような雰囲気ですね。
『前の住人がやって来た』の3話	それまでの住人も複数登場してきて、登場人物が増える事で様々な関係性や過去に何があったのかが分かってきましたし、更には新しい秘密も明らかになり、良い意味で迷宮入りしているような雰囲気には没頭してしまいました。また、それぞれのキャラもとにかく個性が強くて強烈で、狂気が狂気を呼ぶ感じがGOOD！服を脱ぎだしていいことが起こるのかと思いきや、ヤバそうな雰囲気続きが気になります。
『前の住人がやって来た』4話	どうとう、部屋の呪いの大本がわかりましたね。そして、主人公たちが供物として、誰かを手にかけているのは間違いなさそうです。主人公が誰を供物にしたのかは気になりますが、前の住人たちが過去にどうしたのかも気になります。
『前の住人がやって来た』4話	この呪いのようなものはずっと続くのでしょうか？ そうだとするとやばすぎますね。しかも、住人はどんどん入れ替わるわけですし、20人以上前の住人とかまででてくる可能性もあるということですよ。さすがに隠し通せなさそう。

『前の住人がやって来た』5話	まさか過去の102号室の住人たちも、いろんな人の命を奪っていたとは。安田と津田川は、全く知らない関係のない人でしたが、令香は自分の彼氏を手にかけているのでかなり辛いでしょうね。死の間際、令香を見つめる彼氏の顔が怖かったです。
『前の住人がやって来た』5話	とうとう、主人公の秘密が判明して、前の住人たちと協力関係になりましたね。そして明かされる最初の住人の秘密。最初の住人も普通の人ですし、どんな過去が会ったのか気になります。
『前の住人がやって来た』6話	人が変わったかのように、君島が首に手をかけるシーンには驚きました。これまでをろずさまの声に悩まされて、仕方がなく行動する描写はありましたが、操られるような感じになるのはありませんでした。あのときの君島の目がすごく怖かったです。
『前の住人がやって来た』6話	結局、君島がやったのかが気になります。返り血は浴びていませんでしたし、をろずさまがやったのかもしれない。それとも、君島が覚えていないだけで、やってしまったのでしょうか。あと、ちょっと話が短いかないと思いました。昔の話はササッと終わらせて、主人公たちの場面に戻って欲しいです。
『前の住人がやって来た』7話	をろずさま、思っていたよりヤバそうな見た目をしていますね。これまで住人の親しい人を供物にしてきましたが、今回はバイト仲間でした。クズそうな男だったので、これまでと違って嫌な感じは全くしなかったですね。むしろこんなクズで供物になるのかが心配です。
『前の住人がやって来た』7話	最初の供物は、あの美人で可愛い女の子になるのかと思いきや、ゴミみたいな男でした。欲望がストレートすぎて滑稽でしたし、君島が躊躇なく供物にできたのも納得です。ここから、君島は引越すのでしょうか？こんなゴミを供物にして豊かになるなら、ずっと住んでしまいようなものですが。
『前の住人がやって来た』8話	安達を供物にするのかと思いきや、結局できませんでした。なんか、人が変わっただけで、同じことを2回読まされている気分になりました。このまま次の女性を供物にするのなら、本当に同じことの繰り返しになってしまいます。これで、君島がこの女性も供物にできず、誰も供物にできなかったという展開なら納得なのですが。
『前の住人がやって来た』8話	いやいや、あのクズ男を供物にしましょうよ。かなりクズですし、いなくなっても罪悪感はほとんどないはず。そんなときに出会った女性ですが、境遇が不遇だけで性格の良さそうな人です。あのクズ男の変わりと考えると、ちょっと胸が苦しくなります。
『前の住人がやって来た』9話	まさかの供物に驚きました。この後に、どのようにして、次の住人がすみ始めたのかが気になりますね。何しろ、元住人は行方不明になっているのですから。次の元住人の女性が出てきましたが、どれだけ元住人が出てくるのかも気になります。
『前の住人がやって来た』9話	元住人の話が終われば、次の元住人の話へ。いつになれば、元々の主人公の話に戻るのか、少しモヤッします。そろそろ過去編ではなく、本編に戻っても良い頃だと思うのですが。刑務所にいた令香が、主人公たちとどのように関わるのかは楽しみです。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス